

武雄十兵衛家資料寄贈記念

# 銀杏いちろうを掲げる



令和3年10月、武雄鍋島家一門の家柄である武雄十兵衛家の資料約600点が、武雄市に寄贈されました。銀杏紋を家紋として掲げ、武雄鍋島家の中でも上級家臣であった武雄十兵衛家の多彩な資料をご紹介します。

観覧無料  
会期中無休

令和4年

## 4.23土 - 5.22日

主催/開催場所

### 武雄市図書館・歴史資料館

〒843-0022 佐賀県武雄市武雄町大字武雄5304-1 TEL.0954-28-9105

蘭学・企画展示室

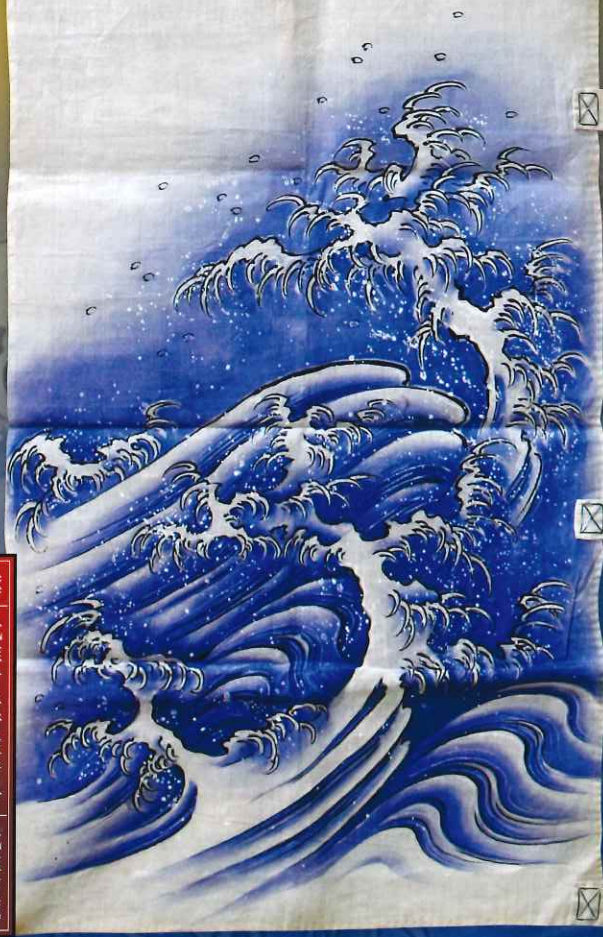
開館 日~木 9時~17時 金・土 9時~18時  
GW期間中(4月29日~5月5日)は9時~18時

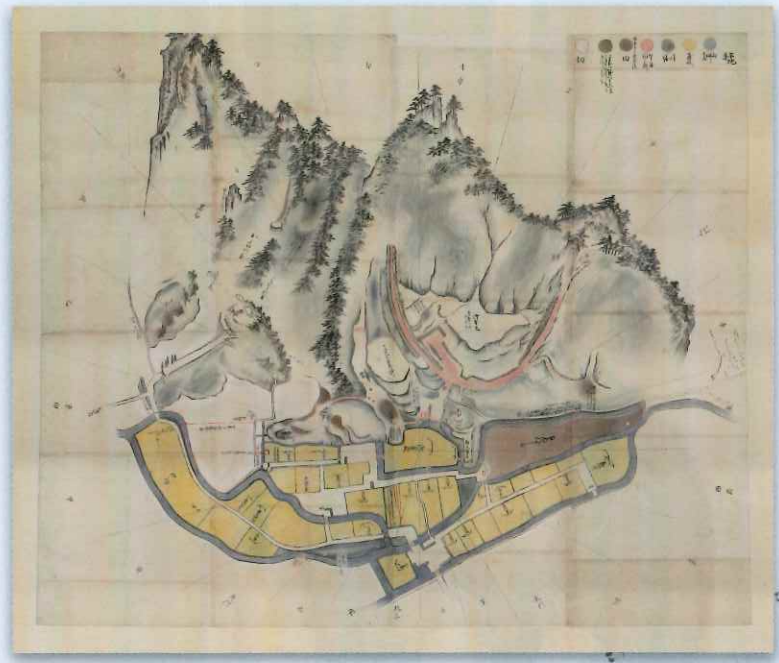
ギャラリートーク

4月29日[金・祝]・5月3日[火・祝]・5月15日[日] いずれも14:00~

新型コロナウイルス感染症等の影響により、変更・中止となる場合があります。

旗 武雄十兵衛家資料 武雄市蔵





令和4年度 武雄市図書館・歴史資料館企画展

武雄十兵衛家資料寄贈記念

いちろう

# 銀杏を掲げる

武雄十兵衛家とは、武雄後藤家20代領主後藤家信の4男・十兵衛(頼續)が武雄姓を名乗ったことに始まります。その後、武雄後藤家は21代の茂綱から鍋島の姓を名乗るようになり、武雄十兵衛家は、武雄鍋島家の上級家臣として領主を支えてきました。

江戸時代後期、武雄領主鍋島茂義の時代に武雄十兵衛家の当主だった武雄佐門(頼之)は、武雄領の執政を務め、武雄の郷校「身教館」で文部局頭人も兼ねました。

また、明治2(1869)年に作成されたと考えられる「上総家来知行切米其外身格附」には、佐門の子・要人(頼均)が武雄領主鍋島茂昌(上総)の親類の項に記載されており、武雄十兵衛家は武雄鍋島家の中でも上級家臣の家柄だったことがわかります。

武雄鍋島家の家紋は銀杏(抱き銀杏)です。文様に細かな違いはあるものの、武雄十兵衛家も銀杏紋を使用しました。銀杏紋を掲げ、武雄を名乗った武雄十兵衛家の多彩な資料をご紹介します。



## 武雄市図書館・歴史資料館

〒843-0022 佐賀県武雄市武雄町大字武雄5304-1  
TEL.0954-28-9105 FAX.0954-28-9205  
E-mail:epochal@city.takeo.lg.jp  
<http://www.city.takeo.lg.jp/rekisi/his-top.html>



旗 武雄十兵衛家資料 武雄市蔵

陣笠 武雄十兵衛家資料 武雄市蔵



手頭(鍋島茂義より武雄佐門あて) 武雄十兵衛家資料 武雄市蔵